

灯油・ガソリン高すぎる! 緊急対策を申し入れ



「生活守る予算」を要望

市長と教育委員長に対し、国保、医療、生活保護、障害者福祉、雇用、中小企業支援、教育、子育て支援など予算編成に関する全262項目の要望書を提出しました。写真は吉田市長(左端)に申し入れる党市議団。

暮らしを守るため がんばります

日本共産党福岡市議団

福岡市の国保料は高すぎて、市民が払いたくても払えずに医療から排除される深刻な事態です。引き下げを求める声が大きく広がっています。日本共産党も参加する「国保をよくする福岡市の会」が市議会に提出した「国保料の引き下げを求める請願署名」は、人口の1割を超える14万5899筆と、過去最高数に達しました。

日本共産党は12月議会で請願の採択を求めて奮闘しました。これまで国保料の引き上げに賛成してきた自民、公明、民主、みらいの議員も不採択にできず、継続審議となりました。国保運営協議会(1月)では委員から「高すぎる。負担軽減すべき」の声があがりまし。



【写真上】14万筆を超えた国保署名の提出を前に「国保をよくする会」のみなさんを激励(07年12月)

【写真下】天神で国保料引き下げを求める署名活動

国保料 引き下げよ! 14万人署名にこたえ奮闘

世論と運動が変化うみだす

世論と運動が変化を生み出しています。引き下げの実現へひきつづきがんばります。

政府が4月開始予定の75歳以上の「後期高齢者医療制度」は、高い保険料を年金から天引き、滞納したら保険証とりあげ、治療内容の制限など、お年寄り差別の医療制度です。福岡県の保険料は年10万1750円(平均的年金収入の単身世帯の試算)。いま市が各公民館で説明会を開いています。どこでも「年寄りには早く死ぬということか」など不安と怒りの声があがっています。

財政は暮らしと社会保障を中心に
いまの日本経済は「大企業はポロ儲け、庶民は貧困」という異常事態です。日本共産党は、自民党政治によって進められた極端な大企業中心主義をただして、国民の暮らしと社会保障へ経済・財政の軸足を移すことをめざしていますが、こうした「改革」こそ求められているのではないのでしょうか。

への意見書を提案して各党派に賛同を呼びかけました。が、自民、公明、みらいに加え、民主も反対して否決されました。

日本共産党福岡市議団 www.jcp-fukuoka.jp



ガソリンが1.5倍、灯油が2.3倍など原油高が生活と営業を圧迫しています。日本共産党市議団は福岡市に対し、①生活保護世帯や高齢者、障害者、母子・父子世帯などへの「福祉灯油」の支給、②中小業者、農漁業者への燃料代補助や減税措置などの緊急対策を申し入れました。

国民の苦しみよそに 米軍にタダで給油とは

国民・中小業者が原油高に苦しんでいるなか、自民、公明は「新テロ特措法」を強行採決してインド洋での給油活動を再開しようとしています。6年間で約49万キロリットル、約225億円にも。「異常なアメリカいなり」から脱出することこそ、国民の利益につながるのではないのでしょうか。

「福祉灯油」を福岡市でも



市民生活はたいへんなのに、大企業は史上空前の大もうけ。貧困と格差のひろがり、くいとめるため行政と議会がその役割を發揮する時です。市民はじめの政治とたたかい、暮らしを守る政治の実現へ、日本共産党は市民と力をあわせてがんばります。

政治と経済の軸足を 大企業から国民へ

貧困と格差のひろがり、雇用や医療・社会保障の不安と危機…。大企業中心の政治を続けていると、家計は冷え込み、日本経済のまともな発展も見えません。経済の軸足を国民に移すことがいま必要です。

一方、薬害C型肝炎の患者救済など国民の世論と運動が政治を動かす新しい時代です。

アメリカいなりと大企業中心という自民党政治の根本に切り込む日本共産党が大きくなるのが、新しい政治をきりひろく力になるのではないのでしょうか。



九州・沖縄から日本共産党2議席を

赤嶺政賢 (現)

田村貴昭 (新)

志位和夫委員長きたる

日本共産党演説会
2月19日(火)午後7時～
福岡サンパレス

入場無料 託児あり お問い合わせ (092)411-5131
主催: 日本共産党福岡県委員会 福岡県日本共産党後援会

日本共産党が政策と演説会開催を発表しました。

吉田市政の一年を検証

日本共産党 が追及

選挙公約どこへいった?



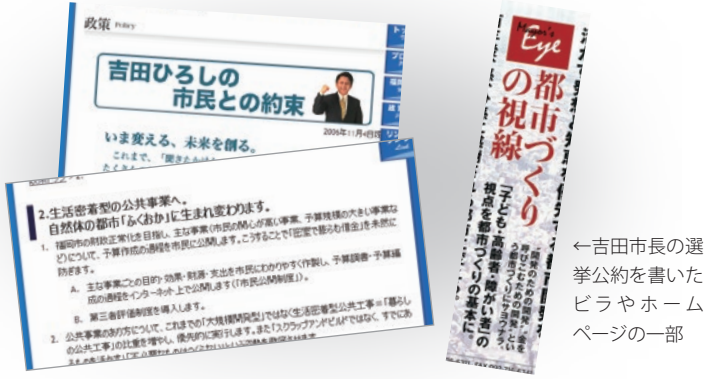
就任して一年がたった吉田市長は、財界いいなりの大型開発推進、市民犠牲型の市政を進める姿勢を鮮明にし始めました。日本共産党市議団は12月議会(11日~19日)で、市民の切実な要求の実現へ奮闘するとともに、市長の公約違反ぶりを追及しました。

人工島 市長自ら推進 本部長に

吉田市長は人工島事業を検証検討した結果、凍結も縮小もすることなく、破たん救済の税金投入を問題なしとしました。そして、企業誘致のための交付金拡充、商業・娯楽施設の誘致、都市高速道路の延伸、青果市場の統合移転などを打ち出し、人工島推進本部を立ち上げ、市長自ら本部長に就きました。

「大胆に見直し」の公約違反、市民への裏切りに他なりません。山崎前市政以上に、破たん救済の税金投入の泥沼に突き進むものです。「市民の声を聞く」という公約も投げ捨てました。

市長の人工島推進宣言に対し、自民、公明、民主、みらいの市



←吉田市長の選挙公約を書いたビラやホームページの一部

議らは歓迎。日本共産党は人工島建設と税金投入を中止するよう厳しく追及しました。

こども病院 人工島移転 許されない

「こども病院の人工島移転計画を見直す」というのが市長公約でした。

ところが一転、移転先は人工島が最適などと決定。医療関係者や患者、幅広い市民から批判と抗議の声があがっています。

日本共産党はきっぱり反対す

るとともに、利便性や小児医療機関の適正配置などから見て現地またはその近辺での建て替えが望ましいことを主張しました。また市民病院の民営化にも反対です。

行財政プラン 市民犠牲型を引き継ぐ

吉田市長は基本方針「グランドデザイン」を発表しました。

これは、①大型開発を推進する「アジアの交流拠点都市」づくり、②「民間でできるものは民間

で」として、生活・福祉関連を切り縮める行革、③公共料金値上げなど市民負担増を前提とした「財政再建」など、基本的に前市長の方針を引き継ぐもの。一年前「無駄の多い大型開発」と批判した立場は今どこにも見えません。

企業交付金 破たん穴埋めの税金投入

吉田市長が打ち出した「企業立地交付金制度」は、人工島や九大学研エリアに進出する企業に対し最大10億円の補助金を出すというもの。3年間で100社目標といいます。市が税金を投じて造った空き地を売りさばくために企業に税金を投げわたすなど言語道断。他の自治体では「大企業優遇だ」「雇用効果なくムダづかい」など大問題になっています。



公立保育所 民営化も公約違反

「民営化中止」という公約が破られようとしています。子どもたちや保護者、保育士にたいへんな苦勞が押しつけられたことに目を向けない「検証」で、今でも少ない公立保育所をなくしてしまうことは許されません。

12月議会トピックス

宮本 秀国 ◀「市長は国保料引き下げを求める市民との対話集会を断ったそうだが、財界幹部ではなく市民の声こそしっかり聞くべきだ」と市長の姿勢をただしました。

中山 いくみ ◀日の丸の議場掲揚を求める日本会議福岡の請願を自民、公明、民主、みらいが強行採決するなか、「日の丸が侵略戦争の象徴だったことから国民意見が大きく分かれ、様々な思想信条を持つ市民から選ばれた議員の言論の場である議場の掲揚強制は許されない、アジア諸国との真の友好こそ市民の願いだ」と反対討論しました。

星野 美恵子 ◀留守家庭子ども会の「無料化」という市長公約が実行されなかったために生じた補正予算案に反対し、無料化の早期実現と留守家庭子ども会の充実を要求しました。

ひえじま 俊和 ◀後期高齢者医療制度にあわせて65~74歳の重度心身障害者の医療費助成を一部廃止する条例改定について「自己負担ゼロから3割への大幅増であり許されない」と追及しました(第2委員会)。

倉元 達朗 ◀食品偽装の対策と再発防止のため、食品衛生監視体制の強化を要求。「基本方針について見直す」との答弁を得ました。

熊谷 敦子 ◀「高齢者から医療を奪い取る改悪はとんでもない」と、後期高齢者医療制度の実施中止を求める意見書の賛成討論を行いました。

日本共産党の質問

- 星野議員の議案質疑
 - ・留守家庭子ども会関係補正予算について
 - ・重度心身障害者医療費助成条例改正案について
- 宮本議員の一般質問
 - ・市政方針「グランドデザイン」について
 - ・こども病院の人工島移転の撤回を
 - ・市長と財界との関係について
- 倉元議員の一般質問
 - ・障害者の負担軽減、施設への支援などについて
 - ・多重債務者対策の強化について
 - ・食品偽装の再発防止について

意見書

- 防衛省汚職の徹底解明と再発防止を求める意見書
政府と国会に対し「政治家や官僚の関与がなかったか等の徹底解明と再発防止策」を要請。日本共産党が提案。全会一致で可決されました。
- 後期高齢者医療制度の実施中止を求める意見書
日本共産党が提案。ネットワーク、社民が賛成。自民、公明、民主、みらいの反対多数で否決されました。
- 食品偽装の解明と食の安全を求める意見書
日本共産党が提案。全会一致で可決されました。(その他2件)

請願

12月議会に提出された請願を紹介します。

請願件名	請願者(署名数)
後期高齢者医療制度の実施の中止を求める意見書議決について	福岡市社会保障推進協議会
道路の拡幅について(城南区友丘)	友丘地区道路拡幅連絡協議会(2,115人)
30人学級の早期実現について	ふくおか教育を考える会(40,979人)
自然林の保全について(東区香住ヶ丘)	香椎花園前駅の森を守る会(8人)
「動物管理センター」を「動物を生かすセンター」にすることについて	「動物管理センター」を「動物を生かすセンター」に変える会(20,000人)
妊婦健診における公費助成の拡大について	妊婦健診の無料化を求める会(1,503人)
児童館の設置について	福岡市に児童館を生み出す推進連絡会(29,397人)
妊婦健康診査の公費負担の拡充について	福岡市医師会
保育・子育て支援施策の充実について	豊かな保育を求めて公的保育の拡充をめざす福岡市実行委員会(7,459人)

議会改革に全力 日本共産党

政務調査費 領収書の全面公開へ

市議の政務調査費の適正使用のため、収支報告書に「一円以上」の領収書を添付し公開することが決まりました。透明性を高めるため全面公開すべきだという日本共産党の主張が認められたものです。

海外視察 自民・民主などが存続を決定

日本共産党が廃止を提案、追及して大問題となった市議一人100万円の豪華「海外視察」。自民、公明、民主、みらい、ネットワーク、社民の代表が「報告を充実すればよい」「上限額を80万円に引き下げる」などと合意して、多数で「存続」を決めました。

賛否

主な議案	会派名						
	日本共産党	自民党	公明党	民主市民クラブ	みらい福岡	ネットワーク	社民市政クラブ
一般会計補正予算(留守家庭子ども会関係含む)	●	○	○	○	○	○	○
重度心身障がい者医療費助成条例改正案	●	○	○	○	○	○	○
中学校設置条例改正案(人工島に中学校新設)	●	○	○	○	○	○	○
自転車駐車場の指定管理者の指定	●	○	○	○	○	○	○
請願「市議会での国旗・市旗の掲揚について」(日本会議福岡)	●	○	○	○	○	○	○
請願「市議会での日の丸の掲揚反対について」(教科書問題を考える福岡の会ほか7団体)	○	●	●	●	●	○	○

ご意見、ご要望をお寄せください
電話 711-4734
メール info@jcp-fukuoka.jp